

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年3月27日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年3月27日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【2号機原子炉注水設備の配管敷設U字溝内漏えい警報発生について】 2号機原子炉注水設備の配管敷設U字溝内に設置している漏えい検知器の液位高警報が発生した。監視室では警報が発生せず、現場制御盤のみに警報が発生していることおよびU字溝内での配管漏えいが無いことから誤動作と判断した。 原因は調査中。	GⅢ
2	【5号機125V所内蓄電池(B)の比重低下について】 5号機125V所内蓄電池(B)の定例点検において管理基準(比重1.205未満のセルが4セルを超えていないこと)を超えて6セルの比重低下を確認した。 蓄電池の外観に異常がないことおよびセル電圧、総電圧は正常であることから機能は確保されていると判断した。 継続して定例点検にて機能を確認する。	GⅢ